

授業基本情報/Course base information

科目コード /Subject Code	R1A00100	ナンバリング /Subject Code	RXREST001-A
科目名 /Subject Name	地域学入門		
英文科目名 /Subject English Name	Introduction to Regional Studies		
担当教員 /Teacher Name	白石 秀壽, 吳 永鎬		
クラス /Class		開講学期 /Class	前期
対象学年 /Lectures Target	1,2,3,4	開講時期 /Lectures Target	前期
講義室 /Room		科目区分 /Room	専門科目必修
曜日・時限 /Week・Hour	水 2	単位区分 /Week・Hour	必修または選択
授業形態 /Lecture Form	一般講義	単位数 /Lecture Form	2.0
準備事項 /Matter of Prepare			
備考 /Note	専門科目		

授業概要情報/Course description

担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内	コーディネーター：吳永鎬(人間形成コース)地域学部棟4階4330 サブコーディネーター：白石秀壽(地域創造コース)
オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内	授業時間前後の時間
担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内	オリエンテーションの際に連絡します。
授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内	地域における様々な取り組みや、地域に対する様々な視点を学ぶことをとおして、地域学の研究および地域学の実践に対する基礎的な理解を得ることにある。 そのために本授業では、①生活の視点、②移動の視点・歴史の視点、③私の視点に沿ってセクションを構成し、各視点への理解を深めるとともに、地域をどのように把握するか、またありうべき地域のあり方はどのようなものかを考究していく。セクションごとに外部講師をお招きし、セクションの最後にはさらに学びを深めていくための本学教員による話題提供を行う。地域学を、理論面ばかりでなく、実践のイメージとともに具体的に捉えることを目指す。鳥取大学において築かれてきた地域学の基本的な知見を学ぶことをとおし、学生たちが「地域」なるものに対する(about)／をとおした(through)／の中での(in)／のための(for)学びを深めていくうえでの基礎を磨く。
キーワード /Keywords /4000文字以内	地域、地域学、研究、実践、生活、移動、歴史、私
到達目標 /Objectives /4000文字以内	地域学入門では、以下の三つの目標の達成を目指す。第一に、従来の専門分化した学問体系とは異なる地域学の意義や目的、視点などの特徴をつかみ、「地域学とは何か」をある程度説明できる基礎力を養う。第二に、地域学部の3コースの相互の関連性や、各コースの専門分野と地域学との関連性について、地域研究や地域づくり実践のアプローチを学ぶことから具体的にイメージできるようになる。そして、第三に、キャリア教育の一環として、将来自分自身が目指すべきキャリアや自己実現の方向性をイメージし、そのために求められる専門的な学びが何かを考えるとともに、視野の広いネットワーク構築の必要性に気づく。
他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内	地域調査プロジェクト、地域学総説、地域フィールド演習、海外フィールド演習
教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内	【教科書】柳原邦光・光多長温・家中茂・仲野誠編著『地域学入門—くつながり>をとりもどす—』ミネルヴァ書房, 2011年 【参考書1】家中 茂, 藤井 正, 小野達也, 山下博樹編著『新版 地域政策入門:地域創造の時代に』ミネルヴァ書房, 2019年 【参考書2】野田邦弘・小泉元宏・竹内潔・家中茂編著『アートがひらく地域のこれから:クリエイティビティを生かす社会へ』ミネルヴァ書房, 2020
授業の形式 /Classwork /4000文字以内	地域学部の教員と外部講師によるオムニバス形式。

<p>成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内</p>	<p>毎時間の小テスト75点(5点×15回)、レポート25点とし、総合的に評価する。</p>	
<p>担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内</p>	<p>◎授業終了時には、出席票を兼ねた小テストを毎回manabaで実施します。 ◎4回以上欠席した場合は未履修扱いとします。遅刻・欠席のないように！</p>	
<p>授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内</p>		
<p>教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内</p>	<p>本科目を受講して得られる知識や能力は、本学が教育グランドデザインで定める以下の「現代的教養」と「人間力」の要素に該当します。</p> <p>現代的教養(文化・社会・自然に関する幅広い知識) 現代的教養(論理的な課題探求と解決力) 現代的教養(創造性に富む思考力) 人間力(自律性に基づく実行力) 人間力(多様な環境下での協働力) 人間力(高い倫理観と市民としての社会性)</p>	
<p>ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内</p>	<p>本科目を受講して得られる知識や能力は、「卒業認定・学位授与の方針」に定める「学生が本学における学修と経験を通じ身につける能力」のうち、以下に該当します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 文化、社会、自然に関する幅広い知識・理解、これを土台とした特定の専門分野に関する深い知識・理解、知識獲得のための方法と技能、そしてこれらを統合した豊かな教養 2 現実に生起する様々な諸課題を探究し解決していくのに必要な、論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力 3 地域から国際社会まで、幅広い興味・関心をもち、自律的・主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力 4 高い倫理観及び責任感をもち、他者との豊かなコミュニケーションをもとに、協働して実践する力 	
<p>実務経験 /Work experience /2者択1</p>	<p>有</p>	
<p>実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内</p>	<p>実務経験との関連:各地の優れた実践家(地域のキーパーソン)が、オムニバス形式により、その経験を活かして、具体的な地域課題や地域づくりの視点を講義する。</p>	

授業計画詳細登録/Course schedule

回/Times	授業内容 /Course Contents	予習・復習内容 /Contents of Preparation / Review	備考 /Note
1	オリエンテーション:地域学への招待	テキスト・シラバスを読んで、講義のねらい・概要等を把握する。	講師: 呉永鎬、白石秀壽
2	「産み育てる」を地域で支える	Webページ等を参照して講師の活動について知る。	講師: 川口映子(産後ケア・やわらかい風代表)
3	人口56人の集落に移住し暮らす	Webページ等を参照して講師の活動について知る。	講師: 加藤俊希(株式会社庵案 代表取締役)
4	コミュニティのための「劇場」の役割ー地域でつくる表現ー	Webページ等を参照して講師の活動について知る。	講師: 中島諒人(演出家・鳥の劇場芸術監督)
5	地域で看取るいのちーホームホスピス宮崎の地域づくり	Webページ等を参照して講師の活動について知る。	講師: 市原美穂 (一般社団法人全国ホームホスピス協会 理事長)
6	「生活から考える視点」を考える	Webページ等を参照して講師の活動について知る。	講師: 竹川俊夫(地域創造コース教員)、村田周祐(地域創造コース教員)
7	偶発性をデザインするー人口5,000人の徳島県神山町はなぜ進化し続けるのかー	Webページ等を参照して講師の活動について知る。	講師: 大南信也(学校法人神山学園(神山まるごと高专)常務理事、認定NPO法人グリーンバレー前理事長)
8	原発事故をどのように伝承するかー原子力災害考証館furusatoの取り組みー	Webページ等を参照して講師の活動について知る。	講師: 里見喜生(温泉旅館古滝屋16代目当主)
9	多視点性による公害問題の継承と「地域の価値」の創造	Webページ等を参照して講師の活動について知る。	林美帆(公益財団法人水島地域環境再生財団 研究員)
10	在日コリアン集住地域ウトロの歴史と現在ーヘイトクライムと「小さな統一」	Webページ等を参照して講師の活動について知る。	講師: 金秀煥(ウトロ平和祈念館副館長)
11	「移動の視点」と「歴史の視点」を考える	Webページ等を参照して講師の活動について知る。	講師: アレクサンダー・ギンナン(国際地域文化コース教員)、稲津秀樹(地域創造コース教員)
12	自らの手で、私たちの場をつくるー芸術と映画のプロジェクト	Webページ等を参照して講師の活動について知る。	講師: 佐々木友輔(国際地域文化コース教員)、品岡トリ(米子ガイナックス所属イラストレーター)、杵島和泉(神戸大学大学院)
13	学校に求めるものは?ー難民キャンプの子どもたちにとっての公教育	Webページ等を参照して講師の活動について知る。	講師: 松永晴子(認定NPO法人「国境なき子どもたち」ヨルダン/シリア難民支援事業統括)
14	人と自然の循環から考える地域、そして私	Webページ等を参照して講師の活動について知る。	講師: 鴨志田純(鴨志田農園)
15	まとめと振り返り、レポートについて	第14回までの講義を振り返り、自分なりの「地域学」について考える。	呉永鎬、白石秀壽